

すこやかちゃん



もあ 萌愛ちゃん(平成20年4月12日生)
両親=石井宏・真由美さん〔イ〕
「外遊び大好き！」
いたずら大好き！」



あつき 敦基ちゃん(平成21年2月4日生)
両親=宮内義尚・裕美さん〔三川〕
「アックン4か月です！」
早く歩いておでかけしたいな〜



せな 聖捺ちゃん(平成18年3月5日生)
両親=池田利明・景子さん〔鎌数〕
「3歳になりました。きものを着て
お参りにいってきたの、似合うでしょ！」

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



あさひ浪漫紀行 — 文化財を訪ねて —

7 筑波石と飯岡石

◀ 光明寺(鎗木)の板碑



「産地がどこであるか」というのは、食品に限らず文化財でも大きな関心事です。産地表示されない文化財の場合、その材質で判断できることがあり、板碑はその一つです。

板碑は板状の岩に釈迦や阿彌陀などの仏を梵字で刻んだ供養塔で、鎌倉時代から室町時代を中心に盛んに作られました。

旭市では、筑波山麓で採れる黒つばい雲母片岩と、飯岡で採れる白つばい軟質泥岩の板碑を見ることが出来ます。前者は筑波石、後者は飯岡石といった方がなじみ深いでしょうか。

さて、板碑は海上や飯岡、旭では飯岡石で作られているのに対して、干潟では長泉寺、光明寺、願勝寺等(いずれも鎗木)で筑波石のものを見掛けます。

なぜ、その産地のものが使われているかを判断する一つの目安として、地理的な要因が挙げられます。産地に近いと入手が容易です。一方、遠方のものが価値の高い希少品として、その獲得にエネルギーが注がれることもあります。ただし、近い

遠いかは人により感覚が異なりますし、産地から直接手に入っていたかどうかも検討の余地があります。また古墳の埋葬施設の石棺材を抜き取り、板碑に使用している例もあることから、転用についても注意が必要です。現代ほど流通が発達していない時代には、「物」へのこだわりや執着の深さを感じます。最近耳にする「産地消」は、日本全国そして世界各地のものが身近に手に入る今だからこそ、言葉といえないでしょうか。

〔生涯学習課文化振興班〕

暮らしのカレンダー

- 4日(日) 防災訓練 (8:00~ 干潟中学校) 地区体育祭 (干潟(旭)・矢指)
- 11日(日) 地区体育祭 (中央・共和)
- 12日(月) 体育の日 地区体育祭 (豊畑)
- 16日(金) 全日本卓球選手権大会 (~18日(日) 総合体育館)
- 25日(日) 市民ミュージカル「ブラッシュアップ！」 (13:30~ 東総文化会館)

編集後記

アメリカ大リーグで、イチロー選手が達成した9年連続200本以上安打。誰も記憶に刻まれたと同時に、新たな記録を期待せずにはいられません。さて、広報の取材をしていると、「ぜひ載せて」と声を掛けられることも。その期待に応えたいのですが、載るのはたくさん撮影した中から数枚。でも、多くの人が写ったそのほかの写真も、大切な記録として保存されるほか撮影者の記憶に残り、いろいろな場所でも「この前の行事に参加していた人だ」と気付かせ、その時々情景を思い出させてくれます。(S)

古紙配合100%再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

市内局番「60番台→50番台」「50番台→60番台」へかけるときは「0479」が必要です。